

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ



題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 笹野義春
幹事 佐久間良治
会報・雑誌委員長 舎人経昭

No. 15

人類が私たちの仕事 MANKIND IS OUR BUSINESS

2001～2002年度 RI会長 リチャードD・キング

きょうの例会
第923回 平成13年 11月6日(火)

講演 “動物よもやま話”

東山動物園 教育普及主幹 松山 國臣氏
(紹介 水野(民)君)

先週の記録
第922回 平成13年 10月30日(火) 晴

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員 71(67)名 出席 52名
出席率 77.61%
前々回 10月16日(修正出席率) 98.46%

◆ゲスト紹介

(株)藤田製作所	沼沢 清子さん
愛知厚生年金会館	井澤 宏美氏
“	佐々 幸博氏
(株)星ヶ丘自動車学校	宮田 智廣氏
東山遊園(株)	脇田 澄夫氏
和田内科病院	山内 道明氏
青少年交換学生	ナフ・パネッサちゃん
ホストファミリー	浅見公美子さん
ピアノ・歌	オリガーさん
“	エレナさん
“	ターニャさん

◆11月会員誕生日

森岡君(11/3) 鈴木(理)君(11/7) 伊豫田君(11/14)
加藤(大)君(11/14) 二村君(11/16) 松居君(11/25)

佐久間幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員は2階橋の間にお集まり下さい。
2. ロータリーの友11月号とガバナー月信が来ておりますので、お帰りにお持ち下さい。

お礼の花束贈呈



パネッサちゃん来日当初からホストファミリーとしてお世話頂いている浅見さんに会長より感謝を込めて。

堀江職業奉仕委員長挨拶

職業奉仕月間に因み、各事業所から6名の方をご推薦いただきましたので、会長より表彰及び記念品の贈呈をお願い致します。

被推薦者名	年齢	勤続年数	役職名	推薦事業所名
沼沢 清子	43	22	ハーネス工場工場長	(株)藤田製作所
井澤 宏美	50	29	営業支配人	愛知厚生年金会館
佐々 幸博	52	21	調理洋食副支配人	愛知厚生年金会館
宮田 智廣	49	25	部長補佐	星ヶ丘自動車学校
脇田 澄夫	53	30	総務部次長	東山遊園(株)
山内 道明	43	11	管理室長	和田内科病院

(敬称略)



三好新世代委員長よりお願い

11月10日、名城公園で“チャリティーラン2001”に、私と水谷君、RAC、IACでチームを編成し出場しますので応援よろしくお願い致します。又、当日はお弁当の準備もありますので、ご参加下さる方は事務局まで御連絡をお願い致します。

鷺谷歌の会幹事よりお願い

11月6日、6時より今池ガスホールで歌の会発表会があり、晴れの舞台を前に今メンバーは熱心に練習中です。当日は参加者全員に賞品が当たる抽選会もあり、会長賞、副会長賞始め特別賞の用意もしておりますので、ご家族、ご友人、ご近所お誘い合わせの上、是非応援にお越し下さい。尚、食事をなさいます方は、事務局へお申し出下さい。

スーパーチャージャーズも出演いたしますので、一人でも多くの応援をお待ちしております。

笹野会長挨拶

皆さんこんにちは。

今日は多くのゲストをお招きしておりますが、どうぞ最後までごゆっくりとお寛ぎ下さい。

リーダーの出来、不出来によって組織や企業の盛衰が半ば決まるといいます。今、底の見えない不況にあえぐ日本で「指導者の資質とは何か、どうあるべきか。」先日、私が読んだ雑誌の中でジャーナリストの飯塚昭男氏の記事を紹介しながら話をさせていただきます。

人を評価することは本当に難しい。ジャーナリストの先達であった大宅壮一氏がかつて「人物評論というのは、他人をあげつらうことではない。他人にかこつけて自分を語ることである。他人の正体というのは決して本当につかめるものではない。従って、自分の影を相手の上にかぶせているのにすぎないのではないか、それでいいのである……」と述べています。

最初に素晴らしい人と感じて、後になってつまらなくなる人、あるいは最初はそれほど魅力的ではないが「いぶし銀」のように光ってくる人、肩書きの割には中身のない人、肩書きがなくても充実している人と様々である。

では、いかにして人を評価するのか、いわゆるアマチュアが絵画を評価する方法について、ある評論家が「じっと見ておって“飽きない”のが名画の条件である」正に、人間を見るコツに似たようなものだ。まず先入観を捨て、ある時間をかけて接すれば、その人間の実相が見えてくる。その人が誠実であるか、深見のある人間か、つまらない人間か、自然にわかってくる。一口に「飽きない人間」は本物である。人柄がよく、

性格が面白く、奥行きがある、会う度に新しい発見があるような人間は退屈しない。亡くなった松下幸之助氏や本田宗一郎氏はまさにそうした人物であったと多くの友人、知人が証言しておられたそうです。

そこで人物評価を3つに要約すると、第一はリーダーシップがあるかどうか。第二は情報感覚が優れているのか。そして、第三は人間的魅力があるかどうか。この3つを物尺にして人物を見れば、「あっ、しまった。見損なった。」ということは少ない時代が変わり状況がいかに変化しようが何の影響もない。そしてリーダーは、自分の地金が全て世間の目にさらされることを十分に認識すべきだ。

世の中が平和で社会が安定した時代には人材がなかなか出にくく、大激動期というルツボが必要になる。極端に言えば危機に遭遇しピンチにもまれることによって人は育ち、人材も生まれてくるのではないか。幾多の試練が人間を鍛えるのであって、やはり時代が人間を作る。作家城山三郎氏がこう予言しておられる。「人材枯渇を憂うなかれ。人が状況を変えるのは稀有の例であって大方は状況が人を変え、時代が人を化けさせる。リーダー不在の日本はいよいよ衰退するだろうが、どん底に落ちてはじめて剛直なるリーダーの出現が期待できる。それが歴史というものではないか。」危機の一手手前で真のリーダーが出て、日本を変えてくれればよいのだが果たしてそうなるか。小泉新政権が誕生し、大改革が成功するのか。数年後到来するだろう「どん底」が来るまで待たねばならないのか。

今しばし、城山三郎氏の予言が当たらないように、祈りたいと思います。

友愛の日

池田国際奉仕委員長

今年度の友愛の日は皆さんのまわりや、地域にお住まいの外国の方をお招きしたいと思っており、今日は松楓閣レッドホースから3名の方をお招きし、歌をお願いしたところ快くお引き受け頂きました。



皆さんご存知の歌を柔らかな美声で魅了。

友愛の日がより和やかな雰囲気になり華を添えて頂きました。

(10月23日 報告掲載)

●和田 I M 実行委員長

“IMとはなんだろう!!”

「Intercity Meeting (都市連合会)。毎年1回主に区内のクラブ合同の4大奉仕部門にわたる自由討論集会。全員参加。目的の第一は、会員相互の親睦と面識を広めることであり、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強する会。」

千種ロータリークラブが21世紀最初の東名古屋分区のIMを担当することになりました。すべてのIMに出席したわけではないが、私の第一の思い出は1990年10月15日に名東ロータリークラブが主催のIGF「身近なロータリー活動を」のタイトルのフォーラムにパネリストとして参加したことです。私がロータリーに入会したころは、会場はホテルを使用していましたが堅苦しいセレモニーも長時間の講演会もなく、懇親会も質素で全体の流れは堅実でロータリーについてを語る会議のように記憶しています。

いつの頃からか式典・講演会・懇親会の3部構成になって事実、我々が開催した1994年のI・Mでは会場はキャッスルホテルを使用し講演を「日本赤十字社副社長 近衛忠輝氏」にお願いし懇親会も開催しました。最近では地区大会と変わらないスケールになり、I・Mの本来の目的は何?と疑問に思います。

1980年代～90年代と時代背景は大きく変化しています。IMも同じように変化してきたのでしょうか、21世紀、2001～2002年度いま、我々ロータリアンも大きく変わる時期に来ているのではないだろうか?と疑問に思います。

「点鐘」ってなに? 「四つのテスト」ってなに? 「ロータリーの綱領」ってなに? 20年近くロータリーに所属していて、なにも変わらない? 何も知らない? これでいいのだろうか? と疑問に思います。

我々のクラブは千種区を中心に例会場も区内に置き会員も地域密着型で構成され、他のクラブにはない良さがあると思います。この特徴をI・Mやロータリー活動に活用できないものかと考え、このような疑問をどのように解決できるか、今回のI・Mを通じて考える事にしました。

2002年2月14日木曜日(バレンタインデー)、テーマを「地域」サブテーマに「Well.com@あい Chikusa」とし、第一部は11時30分～12時30分に厚生年金会館大ホールで、式典と「あい」をテーマにした企画を準備しています。第二部は13時～14時30分まで会館地下すべてを会場にし、「地域とのふれあいを考えよう」をテーマにした企画を準備しています。

手作りのI・Mを目指し今後は会員、すべての方にお力をお借りすることになります。よろしく申し上げます。

●二村・石黒IM実行委員

平成13年2月14日に行いますI.M.は和田実行委員長

の「あい」をメインテーマに「地域を考え、元気な名古屋を」目指す内容に組み立てて行きます。

一部はホールにて千種地域の●過去(歴史) ●現在(千種地域のお宝再発見) ●未来(音とスライド映像でイメージ)と三つの視点からストーリーを構成しスライド映像をスクリーンに映写します。

尚、舞台では、音楽とスライド映像でナレーションを一部取り込みながら表現して行きます。

式典は“千種区の歴史”を最初に紹介した後、点鐘から始まります。来賓紹介の部分は簡素化するため、スライド映像とナレーションでの紹介を中心にして、着席位置にて、立礼にてお願いする予定です。勿論プロフィールには、失礼の無いよう十分に配慮しながら、打ち合わせをさせていただきます。

その後、順序に従って紹介が進みます。

最後に、次年度のガバナー補佐、ホストクラブ紹介で、式典の主要な内容は終了しますが、休憩は取らず、そのままスライドと音楽と光の演出で、千種地域の“現在と未来”を表現します。

次に、地域で活躍されている元気印の先生方に、ショートスピーチコーナーを設けて、感想のコメントをいただく予定にしています。

人選につきましては、青少年とボランティアに情熱を注がれてみえる先生にお願いするつもりでいます。

最後に、再度映像と音楽で、「あい」をテーマにした画像を作成し、映像、点鐘で終了致します。

一部終了後ホールから会館地下の懇親会場への移動は、会場の連続性を演出しながら地区のお祭り「棒の手実演(千種区保存会)」「獅子舞(白山氏)」を紹介致します。

二部では第一部のテーマを受け、その具体的な表現を、試みようと考えています。

ロビーに展示コーナーを設置し、小学生～大人までの絵画・書・絵手紙等の作品を各々のテーマに沿って展示していただき、参加賞、優秀賞等で感謝の意をお伝えします。

懇親会場は“からくり”を中心に日泰寺参道のお店を屋台風にならべてにぎわいを再現します。

屋台は、松楓閣さんのミニ天井を始めとして、串カツ、おでん、どて煮などを配します。

また、第一部にてスライド紹介した場所を、写真パネルにて展示しショートスピーチして頂いた先生のブースを設けます。

～ マーキャップカード取扱いのお知らせ ～

豊山一城北RCでのサインマークに限り、ご記入いただいたカードは各自お持ち帰りの上、事務局にご提出いただくことになりましたので、例会時にお持ちいただくか、FAXにてお知らせ下さい。

ニコボックス

藤田千津子

今日は宜しくお祈いします。

23年目の沼沢です。

水野 民也

二人の職員の推薦を致しました。

宜しくお祈いします。

吟詩の会、小林さん黒須さんありがとうございました。

和田 正敏

吾がスタッフ、私の片腕の山内道明君が今日従業員表彰させていただけます。ありがとうございます。

黒須アイ子

曾山流吟詩会15周年記念大会の折、水野民也様御夫妻に御来賀いただき誠にありがとうございました。

佐久間様、お花ありがとうございました。

山本 英次

来週「歌の会コンサート」が開催されます。沢山の御参加お待ちしております。

林 哲央

米山奨学月間もあと2日です。まだ申込みの済んでいない方は事務局までお願い致します。

石黒 正則

IMまで3ヶ月半と迫って参りました。担当の皆様方の御支援をよろしくお願い致します。

- 足立 一成
- 池田 隆
- 神崎 住恵
- 河村 政孝
- 小林 明
- 久野 峯一
- 三好 親
- 水谷 祥
- 成田 良治
- 鷺谷 龍男
- 佐野 寛
- 鈴木 正男
- 吉田 節美
- 田 忠之
- 藤 健重
- 加藤 昭盛
- 菊池 井
- 小坂 正
- 松永 賀
- 水野 幸
- 森 関
- 尾 佐久間
- 野 義
- 谷口 弘治
- 谷 春
- 口 優

野山の菊が大変美しく咲いています。

二村 聡・伊豫田博明

加藤 大豊・鈴木 理之
会員誕生日祝い。

宮尾 紘司・舎人 経昭
夫人誕生日祝い。

萩原喜代子・永井 勝
山田 壽勝

結婚記念日祝い。

池森 由幸

夫人誕生日祝い、結婚記念祝い。

松居 敬二

ロシアの歌姫3人お呼び頂きましてありがとうございます。

会員誕生日祝い。

森岡 文明

3つ同時です。ありがとうございます。

会員誕生日祝い、夫人誕生日祝い、結婚記念祝い。

合計
148,000円

中部経済新聞(10月11日)より

2001年(平成13年)10月11日 木曜日 (14)



「20周年に向けて、会員増強と報酬が最大のテーマです」

RRC・LCCLのライオンズ

『初心』『変身』『邁進』テーマに

来年のIM成功へクラブの総力

名古屋千種区に「RRC・LCCL」が、IMのベストクラブとしての大役を、来年度は20周年の年で果たす。

名古屋千種区ロータリークラブ
笹野 義春さん

「20周年に向けて、会員増強と報酬が最大のテーマです」

来年は20周年の年で果たす。RRC・LCCLが、IMのベストクラブとしての大役を、来年度は20周年の年で果たす。

主な役員

会長	伊藤 聡	副会長	加藤 大豊
幹事	小林 明	財政	水野 幸
副幹事	田中 隆	渉外	佐久間 義

『初心』『変身』『邁進』テーマに

名古屋千種区に「RRC・LCCL」が、IMのベストクラブとしての大役を、来年度は20周年の年で果たす。RRC・LCCLが、IMのベストクラブとしての大役を、来年度は20周年の年で果たす。



「20周年に向けて、会員増強と報酬が最大のテーマです」

来年のIM成功へクラブの総力。来年のIM成功へクラブの総力。

「初心」「変身」「邁進」がテーマ。来年のIM成功へクラブの総力。



◆次回例会 (11月13日) 講演 “生活創造時代、企業と消費者”
名古屋経済大学 教授 小木 紀之氏 (紹介 浅井君)